

開講大学	香川大学
開講科目名	四国の歴史と文化 その2
区分	四国学A
担当教員	渡邊史郎、林敏浩、藤本憲市
学期・曜日・校時	前期後半・時間割外
対象学生	全学部全学科、1年生以上
(担当教員が想定する学部・学科の限定等の詳細)	0
開講大学での科目分類と対象学生	科目分類: 全学共通科目主題C—講義型科目「地域理解」 対象学生: 1年以上、全学部
授業形態	第1回から第8回までeラーニング教材による非同期型授業
過年度の開講実績	H22前期、H23前期、H24前期、H25年前期、H26年度前期、H27年度前期、H28年度前期
講義概要	<p>授業の概要 四国の文化について講義する。各回では、四国に関わる文学作品などに関わるテーマを取り上げる。</p> <p>授業の目的 四国の各大学に在籍する自分が暮らす地域の文化について知識を得ることができる。四国の風土や歴史に関わった文学や方言の内実について、いくらか知ることができる。本授業での学習を通じて、香川を含む四国地域に関する知識や関心・意欲を高める(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応)とともに、四国の歴史と文化に関する研究の背景や現状について説明できるようになることが目標である。</p> <p>到達目標 1. 四国地域の文化についてのいくつかのトピックを詳しく説明できる。 2. 地域の歴史と文化に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる。</p> <p>成績評価の方法と基準 授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合、合計得点に関わらず「不可」の評定とする。</p> <p>授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業計画】 ①ガイダンス、四国の文化に向けて(渡邊史郎、香川大学教育学部) ②四国の万葉集と古代史(田中省造、四国大学文学部) ③石碑の持つ意味—屋島の石碑を題材に—(池田恭哉、香川大学教育学部) ④物理学者・寺田寅彦の文学(永橋禎子、高知県立文学館) ⑤黒島傳治と壺井栄におけるプロレタリア文学の側面(渡邊史郎、香川大学教育学部) ⑥菊池寛について—高松の生んだ文豪—(藤井雄三、高松短期大学講師) ⑦愛媛を歩く—方言の旅—(清水 史、愛媛大学法文学部) ⑧期末レポート(オンライン)</p> <p>【授業及び学習の方法】 本事業はフルオンデマンドのe-Learning形態で実施するため、講義室での対面授業は行わない。 詳細はe-Knowledgeコンソーシアム四国HP「開講科目」ページ内にある『単位互換についての履修案内はこちら』(URL: <a href="http://www-ek4.cc.kagawa-u.ac.jp/courses/">http://www-ek4.cc.kagawa-u.ac.jp/courses/</a>)に記載されているので、必ず熟読のこと。 また、科目履修希望の申し出・手続きとは別に、e-Learningシステム(LMS)の登録が必要なので、必ず期限内に登録を完了すること。もし期限内に登録が完了していない場合は、履修を許可しない。 また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い主体的に学習に努めること。</p>
備考	* 香川大学学生は、平成22年度以降入学者のみ履修可能。 H22～28年度に本科目の単位を取得した者は、履修できない。